

一般質問

答えて市長！ 一般質問

一般質問とは、議員が広く自治体の事務一般を対象として、執行の状況、将来の方針を執行機関である市に問いただすものです。質問の範囲は、市の行財政全般のほか、地域で住民生活に密接している事項など多岐にわたっています。

今定例会では、3月18日(月)、19日(火)、21日(木)の3日間にわたり12名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



被災した建築物における 二次災害防止の市の対応

菊名 克典



問 吉川市が被災した場合、「応急危険度判定士」「被災宅地危険度判定士」を含めた本部は、どのような対応が必要か。

答 判定実施本部では、実際の判定作業は行わないものの、判定士の確保のほか、判定士の受け入れやグループ分け、判定場所の指示や集計など、判定の取り組みを理解した職員の対応が必要になると考える。

◆災害時の対応について

問 避難生活が長期化していく中で、飲料水の他にもトイレや洗濯などの生活用水を確保していくことが重要である。特にトイレの問題は顕著であるが、井戸を活用した生活用水の確保のほかに、どのような対策などが考えられるか。

答 お風呂や洗濯機を活用した水の汲み置き、雨水を活用した備えの周知啓発に努めていく。また、現在各避難所では災害用便槽・仮設トイレを備えているが、下水道が使えない時は水洗トイレが使えないため、衛生面が課題である。市民の方には備蓄トイレの備えを呼び掛けていきたい。

生活困窮者への 学習支援について

加藤 克明



問 対象年齢を小学校6年生から3年生まで広げた理由は。

答 小学校高学年から、算数を中心に応用力が求められ一段階難しくなっている。中学年のうちから、つまづかないために支援を行っていく。

問 児童館ワンダーランドで実施する理由は。

答 宿題レスキューの取り組みや施設の機能面等から開催場所として最適であると判断した。

◆タクシー利用料金補助事業について

問 市街化調整区域にお住まいの75歳以上の高齢者に一部補助(対象外有)を行っているが、現時点で料金補助を受けられる資格のある方の人数、実際に受けている方の人数。対象を市街化区域までに広げる考えはあるか。

答 令和6年1月末現在で2,203人おり、そのうち1,017人。福祉的な移動サービス、住民ボランティアによる移動支援などに事業推進を図っている状況などから、予定はしていない。